



OPERATING INSTRUCTIONS | DAC+AMP

Element-IV

サポート

フォーム

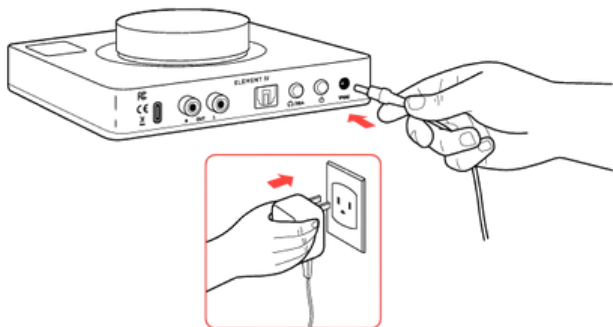


メール

support@zionote.com

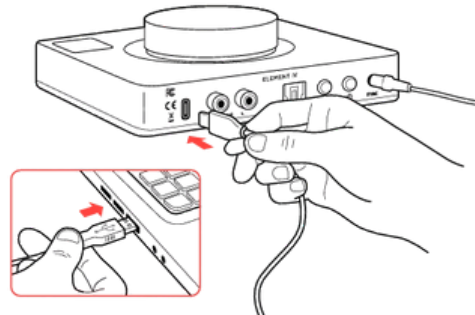
Section 1

接続方法



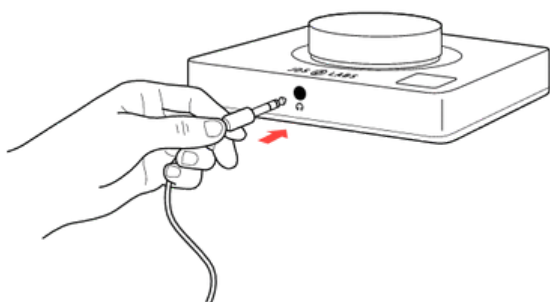
STEP 01

ACアダプターを本体背面の電源ジャックに接続してから、壁のコンセントに差し込んでください。



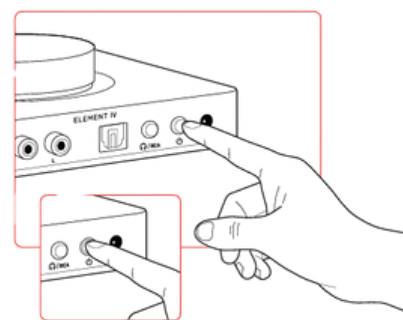
STEP 02

USBケーブルでパソコンと接続してください。



STEP 03

ヘッドホンを前面のヘッドホン出力に接続してください。



STEP 04

電源ボタンを押すと、Elementの電源がオン・オフします。



STEP 05

音量ノブをゆっくりと回して、適切な音量に調整してください。



その他の操作は、「接続とコンピュータ設定」をご覧ください。

設定

自動ゲイン

Element-IVは、最適なリスニング体験を実現するためのオーディオロジックにより、音量を調整する際に最適なゲイン状態を自動的に切り替え、ユーザーが意識する必要は一切ありません。どうぞお楽しみください！

音量が-127.5 dBFSから0 dBFSの範囲にある間は、常にローゲインが有効です。0 dBを超えてノブを回し続けると、ディスプレイにバーが表示され、ハイゲインへの移行に近いことを示します。

Element-IVはゲイン状態の移行がスムーズになるように、自動的に音量を調整します。ハイゲインでは、実効音量範囲は0～14 dBとなります。

「リスニングのヒント」に記載の安全なリスニングを守ってください。一般的なリスニング音量は、お持ちの音楽コレクションや好みに応じて、ほとんどのダイナミック型および平面型ヘッドホンで-50 dB～-20 dBの範囲です。IEMs（インイヤー型ヘッドホン）の場合は、-50 dBFS以下でのリスニングを推奨します。

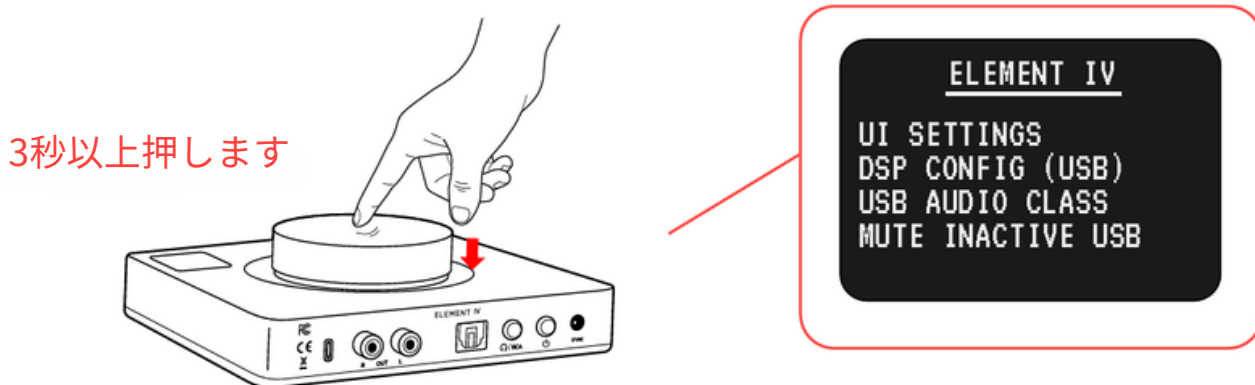
ディスプレイ

Element-IVは操作中にステータス情報を表示します。一定時間で表示が消え、リスニングに集中できるようになります。



オプションメニュー

設定



音量ノブを3秒以上押し続けると、オプションメニューが表示されます。ノブを回してオプションメニューを上下に移動し、ノブを押して項目を選択してください。最適な使用感を得るには、Core™を通じて設定を行うことをお勧めします。各オプションや機能に関する最新の説明は、Core™内で確認できます。

Core™

CoreはElement-IVで利用可能な全ての設定ができ、10バンド・パラメトリックイコライザーのグラフィカル操作も可能です。

対応するデスクトップブラウザから core.jdslabs.com にアクセスしてください。

- Chrome
- Edge
- Opera
- Brave
- Firefox ※要：WebSerial for Firefox

接続

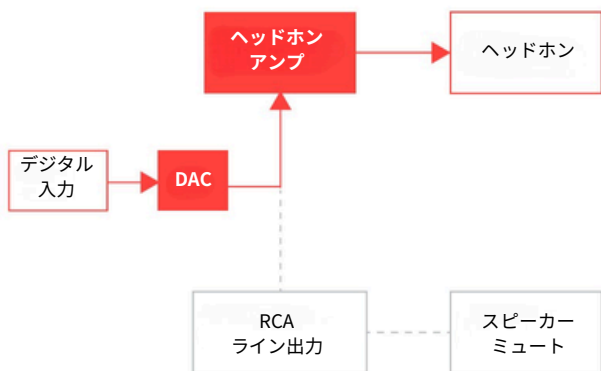
入力

USBかS/PDIF（光）でデジタル入力を行います。
背面のモードボタンで、USBと光の入力切り替えが可能です。

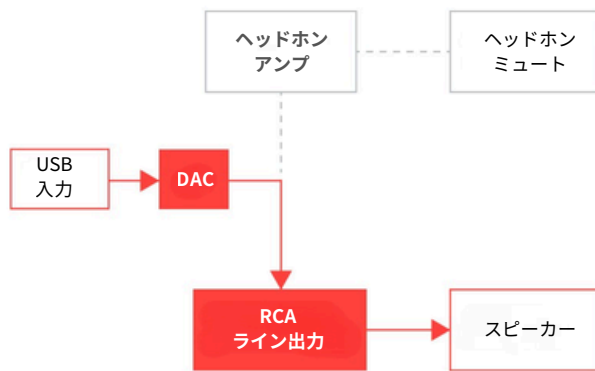
出力

ヘッドフォン出力とRCAプリアンプ出力を搭載します。
クリック感のあるボリュームノブを押すと、出力モードの切り替えが可能です。
有効な出力は1つです。
どちらのモードでも音量調整が可能で、設定はメモリに保存されるため、モード切り替えがスムーズに行えます。
入力または出力ボタンを押すと、画面に現在のモードが表示されます。

ヘッドホン出力モード



RCA出力モード



USBケーブル

ジッターやノイズを効果的に低減するフェライトコアが付いた、USB Type-C to Aケーブルが付属します。

より長いケーブルを使用することも可能ですが、ジッターが増加したり、接続品質が低下する可能性があります。

長いUSBケーブルを使用する場合は、以下の手順を強く推奨します。

1- JDS Labs製ケーブルに取り付けられている取り外し可能なフェライトコアを、新しいケーブルに移し替えてください。新しいケーブルでも元のケーブルと全く同じ位置に取り付けてください。

2- 1.8メートルを超えるケーブルを使用する場合は、USBハブまたはSynapseと、2本の短いケーブル（1本はハブへ、もう1本はDACへ接続する1.8メートル）を使用してください。

再生のポイント

サンプリングレートは、お手持ちの曲ファイルの最高周波数の**整数倍**に設定してください。
例えば、48kHzと192kHzのオーディオファイルが混在するコレクションの場合は、192kHzを使用します。

一般的なストリーミングサービスやゲームでは、48kHzのオーディオが使用される傾向があります。
あるいは、Windows 10/11にXMOSドライバーをインストールし、ASIO対応アプリを使用することで、ビットパーフェクトなサンプリングレート変更を実現することも可能です。

現在のサンプリングレートはElement-IVのディスプレイに表示されます。

デフォルトでは最高の忠実度と十分なD/Aヘッドルームを確保するため、OSの音量コントロールを無効にしています。

注：Windows 10/11では、システムレベルでの音量調整が許可されている場合があります。

Element-IVはヘッドフォンの音量を危険なほど大きく増幅する可能性があります。聴覚を保護するため、安全な音量で聴いてください hearingloss.org

取り扱い上の注意

- Element-IVは高電流電源を使用しているため本体は温かくなります。上面や側面を覆わないでください。
- Element-IVは365日24時間、電源を入れたままでも安全にお使い頂けます。
- 本体の**ノブを持って持ち上げない**でください。
- ノイズ対策のため、無線機器から常にできるだけ離れた場所に設置してください

セットアップ

パソコンのセットアップ

Element-IVは、Windows 10/11、macOS、Linux、および最新のiOSおよびAndroidではドライバーを必要としません。

全てのビットレートを有効にしたり、バッファ（レイテンシー）調整、ASIOを使うためには、オプションのWindows用ドライバーをダウンロードしてください。

必ず新しいDACをデフォルトの再生デバイスとして選択してください。

Windows 10/11

1. タスクバーのボリュームアイコンを右クリックし、**【サウンドの設定】** をクリックします。
2. **【JDS Labs Element IV】** をクリックし、「既定のサウンド デバイスとして設定」を選択します。

最適な設定については、前のページの「リスニングのヒント」をご参照ください。

Windows 11の場合は、サンプリングレートを192 kHzに設定することをお勧めします。

macOS

【オーディオ】 からJDS Labsのオーディオデバイスが選択されていることを確認してください。

トラブルシューティング

電源が入らない

原因：電源アダプターの接続不良、または緩み。破損。

解決策：サポートへご連絡ください。

解決策：

電源を入れるとLEDが繰り返し点滅する

原因：LEDの点滅は、内部リセットを試みてもメインプロセッサから応答がないことを示しています。

これは、例えば深刻な電源障害や水濡れなどが原因である可能性があります。

解決策：Element-IVの電源を切り、再度入れてください。それでも症状が改善しない場合はサポートへご連絡ください。

音量ノブやボタンが反応しない

原因：Element-IVは、電源および通信エラーを検知し、回復するように設計されています。

解決策：正常な電源が供給されていることを確認してください。Wi-Fiルーターや大型モニターの電源端子など、過度なRFノイズ源の近くに置かないでください。別のUSBケーブルを試してみてください。

ヘッドフォンから音が出ない

原因：モード設定が違うか、接続設定が正しくない。

解決策：「接続」ページをご確認ください。全てのケーブル接続と音量レベルを確認してください。



電源アダプター

注意：付属品ではない適合外の電源アダプターを使用すると、コンデンサの破裂や機器の破損の可能性があります。

Element-IVに**付属の電源アダプター**を使用してください。

タイプ：AC-ACアダプター ※一般的なAC-DCではありません	定格電圧：17 VAC
電流：1400mA以上	コネクタ：2.1×5.5mm